令和元年８月２７日
第 520 号
横浜市立日吉台小学校

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiyoshidai/

猛暑が続いた令和元年の夏休み

校長　玉置　恭美

連日３０度を超える気温の日が続き、スキー場がたくさんあり「雪国」というイメージだった新潟県で、８月１５日に気温４０．６度が観測されたそうです。気温がヒトの平熱体温以上になるとは、驚きです。今年は７月のプール開きの後、気温、水温共に低い日が続き、水泳学習ができない日が続きました。その涼しさに慣れてしまったせいか、昨年より暑さが厳しいように感じました。そんな中、卒業した昨年の６年生たちが、真っ黒に日焼けして、中学校の部活動に通っている姿を見かけました。中１の夏の練習はきっとつらいことだったでしょう。暑さと厳しさに耐え、成長した姿を見てとても嬉しかったです。

暑い夏休み中に、地域や保護者の方々が、多くの場面で児童の活動を支えてくださいました。夏休みは子どもは家庭や地域に帰る、その実践が日吉台小学校区で行われていることに感謝いたします。

毎年、夏休みに、考えることがあります。平和についてです。以前勤務していた中学校では、総合的な学習の時間に、３年間平和学習を行っていました。１年生から、調べ学習や講演、映像の視聴等で第二次世界大戦について知識を深め、平和について考えます。３年生の修学旅行で被爆地である広島へ行き、被爆者の方のお話を聞き、平和記念公園を訪れて、その地が当時どのような状況であったかを知りました。建物や人々は、一瞬にして焼き尽くされてしまったけれど、爆心地に近い川の流れは昔のままだ、というお話に、川のほとりに座った中学生たちは、一言も言葉を発することなく、目の前に流れる川の当時の状況を想像したり、現在の平和の大切さを感じたりしていました。

今年も広島、長崎での平和式典の様子が、テレビで放映され、新聞には遺族の方々の言葉がありました。ＩＣＴ技術の向上で数十年前では解明されなかった戦時中の新たな事実が分かってきました。毎年、終戦の日がある８月に、戦争体験を取材した番組が放映されます。広島や長崎でご自身が被ばくし、原爆の悲惨さを語ってきた方々もご高齢となり、後世に伝えてゆくことが難しくなっています。戦争を知らない世代が、その悲惨さを知り、戦争は決して、してはならないというメッセージを受け止め、さらに後世に伝えてゆくことが大切なのだと、毎年夏のこの時期に思います。

箕輪小学校新設に伴う通学区域変更について

平成２９年７月１２日に配布されました「日吉台小学校第二方面校開校準備部会ニュース」に記された「通学区域変更」について、再度教育委員会からの確認です。

以下の区域を令和 2 年度より新設校の「箕輪小学校の通学区域」とします。

箕輪町一丁目 30 番～33 番、箕輪町二丁目 1 番、5 番～20 番、
日吉五丁目 1 番～4 番、日吉七丁目 1 番～7 番、綱島東四丁目 3 番～12 番

＊令和 2 年度から箕輪小学校へ通学する児童家庭向け説明会は 11 月に予定されています。